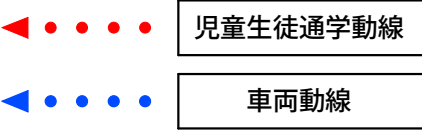
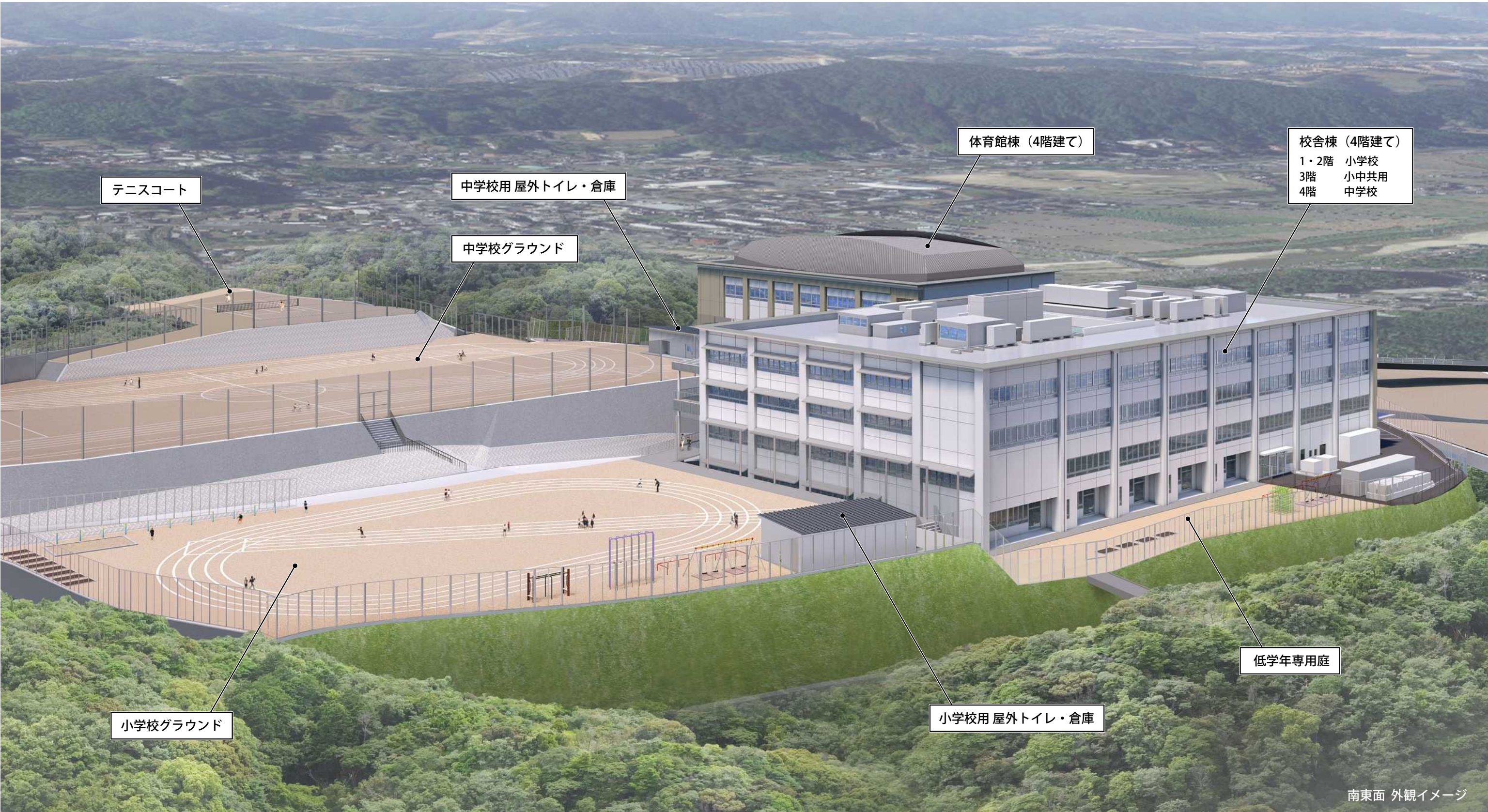
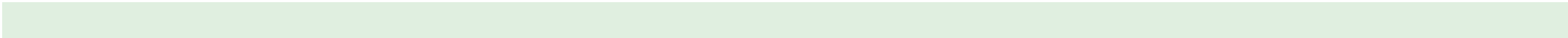


添田町立小中学校 実施設計説明書

教育施設研究所・熊平設計施工監理業務共同企業体 Educational Facilities Institute + KUMAHIRA SEKKEI Design-JV







目 次

A . 建築計画	1. 施設整備に関する基本概要	・・・01～05
	2. 建築計画の基本方針について	・・・06
	3. 配置計画について	・・・07
	4. 平面計画について	・・・08～12
	5. 普通教室まわりの考え方について	・・・13
	6. 図書室の計画について	・・・14
	7. 小学校・中学校の体育館の計画について	・・・15
	8. 立面計画について	・・・16
	9. 断面計画について	・・・17
	10. 仕上げ計画について	・・・18
	11. 工事移行計画について	・・・19

A-1. 施設整備に関する基本概要

■ 本計画の背景と目的

添田町は、現在、小学校 5 校、中学校 1 校を設置しています。添田町教育委員会では、学校の設置に関し、平成29年度に、小学校 5 校を 1 校に統合し新たな学校を建設すること、中学校も同一敷地内に建設すること、そえだサン・スポーツランドに建設すること、平成34年 4 月 1 日に開校することとした「添田町立小学校統合基本計画（案）」を作成し、各小学校区で説明会を行いました。

しかし、統合による地域コミュニティに対する不安や子どもたちの学力・通学の問題や統合に反対する意見も多く、この問題については様々な意見を聞きながら進めていく必要があることから、平成30年度に、統合の是非を早急に語るのではなく、統合の時期については白紙とした上で、統合する・しない場合のメリット・デメリット、統合に関わらず地域をどう活性化していくかなど、地域の皆さんとともに語り合う場として「添田町立小学校の明日を考える会」を各地区延べ13回にわたって実施しました。

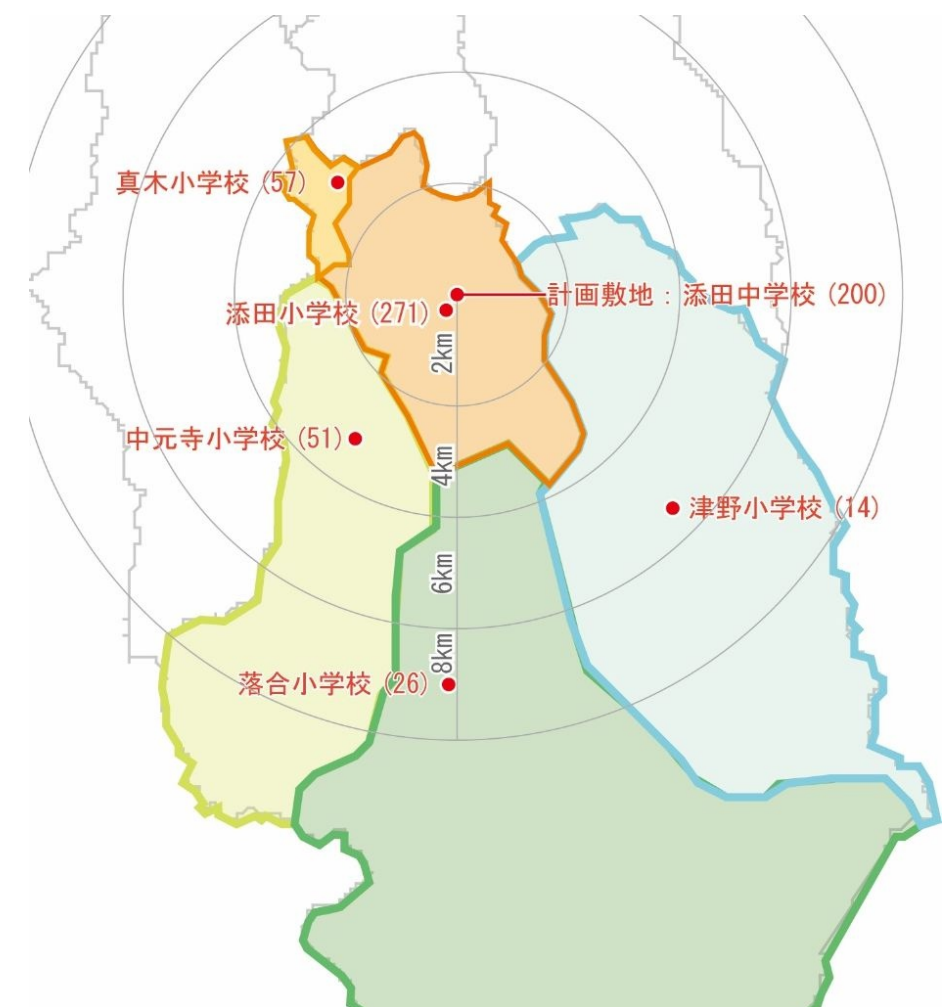
添田町教育委員会では、こうした明日を考える会で出された様々な意見を真摯に受け止めたうえで、教育的観点、校舎の維持管理の観点、財政的観点、まちづくりの観点等を総合的に考え検討し、小学校については、5 校を 1 校に統合し、新しい学校を設置すること、建替えと改修の両方を検討すること、場所は、原則、町有地とすること、中学校校舎については、建替え又は改修による更新を行うこと、場所は、原則、町有地とすること、具体的な手法、場所、経営方針等は、今後策定する基本計画で定めること、基本計画の策定方法については、保護者・地域の代表者等の意見を聞いたうえで策定していくこととする「添田町立小学校統合及び中学校校舎更新基本方針」を令和元年12月に策定しました。この基本方針により、令和 2 年度において、保護者、地域住民代表、学校関係者からなる「添田町立小中学校更新基本計画策定協議会」を設置し、「添田町立小中学校更新基本計画」を策定しました。

この基本計画を踏まえ、令和 3 年度において、保護者、地域住民代表、学校関係者からなる「添田町立小中学校開校準備協議会」および「学校施設整備部会」を設置し、より良い学校となるよう意見を聴取し「添田町立小中学校基本設計説明書」を策定しました。

以上の経緯に沿って添田町立小中学校の建設を実行するに至りました。

■ 計画対象地について

計画地は、小中学校の校舎・グラウンドが計画可能な広さを有し、速やかに造成等の着手が出来る町有地として現添田中学校の敷地を選定します。町の中心部であり、児童数が最も多い添田小学校の近隣である添田中学校を計画地とし、町内の5つの小学校の統合と中学校校舎の建替えを行い、校舎併設型の小中連携校として計画します。



■ 施設整備に関する基本概要

■ 計画建物概要

計画地	福岡県田川郡添田町大字添田1605	前面道路	北側：町道
敷地面積	24,103.28 ㎡	用途地域	無指定地域
主用途	学校	防火地域指定	なし
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階	斜線制限	道路斜線、隣地斜線
建物高さ	校舎棟：17.80m 体育館棟：22.46m ※GL（96.95）よりの高さ	日影規制	なし
建蔽率	21.24%	容積率	59.57%
建築面積 （計画部分）	5,121.16 ㎡	延床面積 （計画部分）	14,548.24 ㎡
校舎+体育館+渡り廊下 附属施設		校舎棟・体育館棟 附属施設	
4,943.28 ㎡ 177.88 ㎡		14,375.36 ㎡ 172.88 ㎡	

◆延べ床面積表

○ 校舎棟・体育館棟		（単位：㎡）					
建物名		1階	2階	3階	4階	R階	小計
校舎棟	校舎	2,560.29	2,663.23	2,692.11	2,638.58	15.89	10,570.10
	屋外階段・屋外デッキ	101.76	342.37	225.63			669.76
体育館棟		1,169.64	528.50	1,191.84	231.92	13.60	3135.50
		合計					14,375.36

○ 附属施設		（単位：㎡）	
建物名	面積		
屋外倉庫・トイレ（小学校）	62.50		
屋外倉庫・トイレ（中学校）	62.50		
ゴミ庫	24.00		
駐輪場	11.98		
受水槽ポンプ室	10.00		
浄化槽機械室	1.90		
合 計	172.88		

◆建築面積表

○ 校舎棟・体育館棟		（単位：㎡）	
建物名	面積		
校舎棟・体育館棟	4,943.28		
合 計	4,943.28		

○ 附属施設		（単位：㎡）	
建物名	面積		
屋外倉庫・トイレ（小学校）	65.00		
屋外倉庫・トイレ（中学校）	65.00		
ゴミ庫	24.00		
駐輪場	11.98		
受水槽ポンプ室	10.00		
浄化槽機械室	1.90		
合 計	177.88		

◆計画諸室一覧

階数	小学校		
	室 名		室 数
1 階	普通教室	普通教室（小1～小2年生）	4
		多目的教室(1)	1
	特別教室等	理科教室	1
		理科準備室	1
		音楽準備室	1
		音楽室	1
		楽器庫	1
		図工工作室	1
		図工工作準備室	1
	管理諸室	保健室	1
		カウンセラー室(1)(2)	2
		教材庫・倉庫	6
		校務員室	1
		校務員用倉庫	1
	給食関係	給食室	1
		配膳用エレベーター	1
	その他	昇降口（1階）	1
		エレベーター	1
		児童トイレ(男)(女)	各1
		PTA室	1
		湯沸室	1
		多目的トイレ	2
2 階	体育館関係	体育館（小）アリーナ部分25.6m×20.4m＝522㎡	1
		器具庫	1
		更衣室(男)(女)	各1
		体育館トイレ(男)(女)	各1
		スクールバス運転手待機所	1
	普通教室	普通教室（小3～小6年生）	8
		多目的教室(2)～(3)	2
		特別支援教室(1)～(3)	3
		通級指導教室(1)～(3)	3
		特別支援教室・通級指導教室 前室	各1
	管理諸室	職員室(小)	1
		会議室	1
		校長室	1
		事務室	1
		放送室	1
		給湯室	1
		職員用更衣室(男)(女)	各1
		物品庫・教材庫・倉庫	8
		文書保管庫	4
		相談室(1)(2)	2
		面談室(1)(2)	2
		部室(1)～(6) 【中学校利用】	6
		職員トイレ(男)(女)	各1
	その他	児童会室	1
		児童用更衣室(男)(女)	各1
		配膳室	1
		昇降口（2階）	1
		多目的トイレ	2
		児童トイレ(男)(女)	各2
	体育館関係	体育教員室	1
		体育館倉庫(1)(2)	2

階数	中学校		
	室 名		室 数
3 階	特別教室等	家庭科室（調理）【小中共用】	1
		家庭科室（被服）【小中共用】	1
		準備室 【小中共用】	1
		多目的ホール 【小中共用】	1
		図書室 【小中共用】	1
		司書室 【小中共用】	1
		ICT室 【小中共用】	1
	管理諸室	相談室	1
		面談室	1
		進路指導室	1
		カウンセラー室(1)(2)	2
		倉庫・物品庫	7
		職員更衣室(男)(女)	各1
		給湯室	1
		放送室	1
		文書保管庫	1
		職員室	1
	その他	会議室	1
		校長室	1
		事務室	1
		保健室	1
		職員トイレ(男)(女)	各1
4 階	体育館関係	生徒トイレ(男)(女)	各1
		多目的トイレ	1
		メディアスペース(1)(2)	2
		配膳室	1
		昇降口（3階）	1
	普通教室	器具庫	1
		体育館（中）アリーナ部分25.6m×34m＝870㎡	1
		普通教室（中1～中3年生）	6
		特別学習室(1)～(3)	3
		特別支援学級(1)～(5)	5
	特別教室等	特別支援学級 前室	1
		理科室(1)(2)	2
		理科準備室	1
		薬品庫	1
		楽器庫	1
		音楽室	1
		音楽準備室	1
		音楽室 前室	1
		美術室	1
		美術準備室	1
	管理諸室	技術室	1
		技術準備室	1
		技術機械室	1
		生徒指導室	1
		教師コーナー	2
	その他	生徒会室	1
		ラウンジ(1)(2)	2
		メディアスペース(1)(2)	2
		生徒トイレ(男)(女)	各2
		生徒更衣室(男)(女)	各1
		配膳室	1
	体育館関係	多目的トイレ	2
		体育館トイレ(男)(女)	各1
		体育館倉庫(1)(2)	2

階数	小学校・中学校		
	施設名		
屋外	屋外施設	屋外倉庫・トイレ（小）	
		屋外倉庫・トイレ（中）	
	運動場	運動場（小）	120mトラック、50m走コース
		運動場（中）	200mトラック、100m走コース
	駐車場	テニスコート	1面
		駐車場	教職員・来客用83台、スクールバス8台
		駐輪場	生徒10台程度

■ 施設規模（１）（各室概算面積）

1教室面積(単位面積) 8m×8.5m= 68㎡

		小学校			中学校			計		備 考
		室数	単位面積	面積	室数	単位面積	面積	室数	面積	
1 普通教室	普通教室（小1～小2年生）	4	97.3	389.2㎡				4	389.2㎡	
	普通教室（小3～小6年生）	8	88.3	706.4㎡				8	706.4㎡	
	普通教室（中1～中3年生）				6	69.9	419.4㎡	6	419.4㎡	
	特別支援教室(1)(2)(間仕切設置)	2	22.4	44.8㎡				2	44.8㎡	
	特別支援教室(3)	1	34.9	34.9㎡				1	34.9㎡	
	通級指導教室(1)	1	34.8	34.8㎡				1	34.8㎡	
	通級指導教室(2)(3)(間仕切設置)	2	27.3	54.6㎡				2	54.6㎡	
	特別支援学級(1)				1	37.3	37.3㎡	1	37.3㎡	
	特別支援学級(2)				1	25.1	25.1㎡	1	25.1㎡	
	特別支援学級(3)(4)(間仕切設置)				2	25.9	51.8㎡	2	51.8㎡	
	特別支援学級(5)				1	30.6	30.6㎡	1	30.6㎡	
	特別学習室(1)				1	69.1	69.1㎡	1	69.1㎡	余裕教室や少人数教室として活用
	特別学習室(2)				1	69.1	69.1㎡	1	69.1㎡	余裕教室や少人数教室として活用
	特別学習室(3)				1	99.8	99.8㎡	1	99.8㎡	余裕教室や少人数教室として活用
	多目的教室(1)	1	122.9	122.9㎡				1	122.9㎡	余裕教室や少人数教室として活用
	多目的教室(2)	1	85.7	85.7㎡				1	85.7㎡	余裕教室や少人数教室として活用
	多目的教室(3)	1	56.1	56.1㎡				1	56.1㎡	余裕教室や少人数教室として活用
2 特別教室等	理科室(小)	1	106.7	106.7㎡				1	106.7㎡	
	理科室(1)(中)				1	96.2	96.2㎡	1	96.2㎡	
	理科室(2)(中)				1	95.1	95.1㎡	1	95.1㎡	
	理科準備室(小学校)	1	37.9	37.9㎡				1	37.9㎡	
	理科準備室(中学校)				1	38.3	38.3㎡	1	38.3㎡	
	音楽教室	1	108.4	108.4㎡	1	107.2	107.2㎡	2	215.6㎡	
	音楽準備室	1	30.2	30.2㎡	1	22.7	22.7㎡	2	52.9㎡	
	楽器庫	1	31.3	31.3㎡	1	35.6	35.6㎡	2	66.9㎡	
	図画工作教室	1	101.6	101.6㎡				1	101.6㎡	
	図画工作準備室	1	34.2	34.2㎡				1	34.2㎡	
	美術教室				1	100.3	100.3㎡	1	100.3㎡	
	美術準備室				1	31.8	31.8㎡	1	31.8㎡	
	技術教室				1	103.6	103.6㎡	1	103.6㎡	
	技術機械室				1	29	29.0㎡	1	29.0㎡	
	技術準備室				1	25.6	25.6㎡	1	25.6㎡	
	家庭教室(調理)(小・中)							1	107.7㎡	小学校・中学校で共用
	家庭教室(被服)(小・中)							1	96.3㎡	小学校・中学校で共用
	家庭準備室							1	35.9㎡	小学校・中学校で共用
	図書室							1	433.0㎡	
	司書室							1	13.3㎡	
	ICT室							1	139.7㎡	図書室と隣接して計画
3 管理諸室	職員室	1	189.4	189.4㎡	1	230.4	230.4㎡	2	419.8㎡	
	給湯室	1	8.9	8.9㎡	1	8.7	8.7㎡	2	17.6㎡	
	物品庫	2	14.3	28.6㎡	1	10.8	10.8㎡	3	39.4㎡	
	職員更衣室	2	20.9	41.8㎡	2	17.4	34.8㎡	4	76.6㎡	男女更衣室
	校長室	1	35.5	35.5㎡	1	36	36.0㎡	2	71.5㎡	応接室含む
	事務室	1	36	36.0㎡	1	40.2	40.2㎡	2	76.2㎡	倉庫含む
	保健室	1	78	78.0㎡	1	71.6	71.6㎡	2	149.6㎡	シャワー室・洗濯室含む
	放送室	1	9.5	9.5㎡	1	9	9.0㎡	2	18.5㎡	
	会議室	1	35.5	35.5㎡	1	36	36.0㎡	2	71.5㎡	各種会議対応
	教材庫・倉庫	11	10.3	10.3㎡	7	17.1	119.7㎡	18	130.0㎡	
	文書保管庫				1	31.2	31.2㎡	1	31.2㎡	

■ 施設整備に関する基本概要

■ 施設規模（２）（各室概算面積）

1教室面積(単位面積) 8m×8.5m= 68㎡

		小学校			中学校			計		備 考
		室数	単位面積	面積	室数	単位面積	面積	室数	面積	
3 管理諸室	生徒指導				1	25.2	25.2㎡	1	25.2㎡	
	進路指導				1	18.4	18.4㎡	1	18.4㎡	
	相談室・面談室	4	12.3	49.2㎡	2	18.4	36.8㎡	6	86.0㎡	
	カウンセラー室	2	19.5	39.0㎡	2	13.5	27.0㎡	4	66.0㎡	
	校務員室							1	34.0㎡	
	校務員用具倉庫							1	17.0㎡	
	職員トイレ									男女トイレ1
4 その他	児童会・生徒会室	1	47.5	47.5㎡	1	24.8	24.8㎡	2	72.3㎡	
	PTA関係室							1	35.2㎡	
	児童・生徒用更衣室	2	27.6	55.2㎡	2	23.4	46.8㎡	4	102.0㎡	小学校高学年・中学校フロアに1箇所ずつ
	配膳室	2	41.9	41.9㎡	1	22.8	22.8㎡	4	74.2㎡	普通教室のあるフロアに1箇所
	多目的トイレ									各階に1箇所
	手洗い場									平面図図示
	昇降口(1階)	1	68	68.0㎡				1	68.0㎡	
	昇降口(2階)	1	74.8	74.8㎡				1	74.8㎡	
	昇降口(3階)				1	68	68.0㎡	1	68.0㎡	
	エレベーター									1台
	配膳用エレベーター									1台
	児童・生徒用トイレ									必要面積で計画
	ラウンジ				2	35.6	35.6	2	35.6㎡	
	教師コーナー				2	37.8	37.8	2	37.8㎡	
5 給食関係	給食室							1	515.9㎡	小学生:326人 中学生:206人 小中教職員:58人 概ね600食×0.8㎡/食=480㎡
6 体育館関係	体育館(小)	1	695	695.0㎡				1	695.0㎡	アリーナ部分(26m×20m=520㎡) ミニバスケットコート(サブ) 2面・(メイン) 1面、バレーコート2面
	体育館(中)				1	1045	1,045.0㎡	1	1,045.0㎡	アリーナ部分(26m×34m=884㎡) バスケットコート(サブ) 2面・(メイン) 1面、バレーコート2面
	更衣室	2	37.4	74.8㎡				2	74.8㎡	
	体育館倉庫(1)～(3)	3	120	120.0㎡				3	120.0㎡	
	体育館倉庫(4)				1	45	45.0㎡	1	45.0㎡	
7 屋外施設	部室(屋内)				4	20.6	82.4㎡	4	82.4㎡	
	屋外倉庫・トイレ(屋外)(小学校)	1	72	72.0㎡				1	72.0㎡	
	部室・屋外倉庫・トイレ(屋外)(中学校)				1	200	200.0㎡	1	200.0㎡	
	防災備蓄倉庫							1	46.3㎡	
8 運動場	運動場(小)	1	2,998.40	2,998.4㎡				1	2,998.4㎡	120mトラック、50m走コース
	運動場(中)				1	5125	5,125.0㎡	1	5,125.0㎡	200mトラック、100m走コース、サッカーコート、テニスコート
	テニスコート				1	1512	1,512.0㎡	1	1,512.0㎡	テニスコート1面
9 駐車場	駐車場									教職員・来客用 83台、スクールバス 8台
	スクールバス運転手待機所							1	16.0㎡	
	駐輪場					11.98		1	11.98㎡	生徒用10台程度

■ 現在の小学校・中学校の概要

令和４年の時点で、添田小学校は各学年 40～50 名程度となっており、真木小学校、中元寺小学校は 10 名前後、落合小学校は 10 名未満、津野小学校は休校となっています。

また、添田中学校は各学年 60～80 名程度となっています。

児童・生徒数は、近年にかけて全体的に減少傾向となっています。

■町内の各学校児童・生徒数と学級数の変遷

年度	添田小学校		中元寺小学校		落合小学校		真木小学校		津野小学校		添田中学校	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数
H26 年度	320	14	50	7	33	7	48	7	17	5	250	11
H27 年度	304	14	48	7	30	7	48	7	18	5	238	11
H28 年度	314	14	50	7	31	7	51	7	16	5	212	10
H29 年度	302	14	50	7	33	6	58	7	16	5	214	10
H30 年度	284	14	49	8	31	6	52	8	13	4	203	9
R1 年度	276	14	51	8	31	6	56	8	13	4	217	11
R2 年度	273	14	51	8	26	5	59	8	12	3	200	11
R3 年度	260	13	45	8	25	6	53	8	10	3	195	11
R4 年度	258	14	43	7	20	6	47	7	－	－	212	11

＊各年度の 2 月 1 日現在 ＊学級数は特別支援学級を含む

■職員数について

職員数は、小学校が 32 名、中学校が 30 名、給食職員が小中合わせて 10 名、合計 72 名。

■町内の学校の建築年度

名称	添田小学校	中元寺小学校	落合小学校	真木小学校	津野小学校	添田中学校
建設年度	昭和 50～52 年	昭和 56 年	昭和 55 年	昭和 54 年	昭和 46 年	昭和 47～48 年

■ 開校時(令和7年度)の児童・生徒数について

■小学校 5 校の統合小学校の児童数及び学級数

学級数は標準学級数（2021 年度からの段階的引き下げに応じた人数 35 人）とします。

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	合計
R7 年度 開校時	児童数	45	48	48	63	48	70	—	322
	学級数	2	2	2	2	2	2	* 2	12
R8 年度	児童数	30	45	48	48	63	48	—	282
	学級数	1	2	2	2	2	2	* 2	11
R9 年度	児童数	29	30	45	48	48	63	—	263
	学級数	1	1	2	2	2	2	* 2	10
R10 年度	児童数	29	29	30	45	48	48	—	229
	学級数	1	1	1	2	2	2	* 2	9
普通教室数の設定		2	2	2	2	2	2	—	12
特別支援学級数の設定		—	—	—	—	—	—	* 2	* 2
多目的教室(余裕教室)		3					3		

■中学校の生徒数及び学級数

学級数については標準学級数（40 人）とします。

		1 年	2 年	3 年	特別支援	合計
R7 年度 開校時	児童数	60	59	75	—	194
	学級数	2	2	2	* 2	6
R8 年度	児童数	70	60	59	—	189
	学級数	2	2	2	* 2	6
R9 年度	児童数	48	70	60	—	178
	学級数	2	2	2	* 2	6
R10 年度	児童数	48	48	70	—	166
	学級数	2	2	2	* 2	6
普通教室数の設定		2	2	2	—	6
特別支援学級数の設定		—	—	—	* 2	* 2
多目的教室(余裕教室)		3				3

- ・児童・生徒数より 1 学年 2 クラスの学級編制としています。また、普通教室として活用可能な多目的教室（余裕教室）を小学校・中学校それぞれに 3 教室配置し、状況に合わせて 1 学年 3 クラス編制が可能な学級編制とします。
- ＊特別支援学級は普通教室 2 教室分とし、可動間仕切り壁を設置することで、状況に応じて、2～4 教室（情緒障害、知的障害、肢体障害、通級指導教室）で利用できる計画とします。

■ 添田町が目指す子ども像

「ふるさと添田町を愛し 夢・希望を実現する かしこさとたくましさを兼ね備えた
人間性豊かな心をもつ子ども」

○「ふるさとを愛するところ」

歴史・文化・自然を育む添田町に生まれた喜びと誇りが持てる教育の実践を図ります。

○「夢や希望を実現するかしこさとたくましさ」

夢や希望の実現に向けて、多様なものの見方や考え方に触れ、自ら学び自ら考える力を育むとともに、たゆまず努力を続けることができる、忍耐力や体力、学力を身に着けさせることに重点を置き実践を図ります。

○「人間性豊かな子ども」

家庭・地域との連携を強化し、体験活動や人間的ふれあいを通して「人の間＝社会」で生きていくための教育の実践を図ります。

2. 建築計画の基本方針について

「添田町立小中学校更新基本計画」に掲げられた計画理念「子どもたちの生きる力を育み、地域の未来を拓く学校」を踏まえ、以下のとおり計画します。

■ これからの教育を支える「学習空間」 → “主体的・対話的な学び”への対応

- (1) 普通教室は黒板とあわせて、ＩＣＴ教育設備を総合的に計画し、教材などの収納を充実することで、ＧＩＧＡスクール構想に対応した教えやすく学びやすい環境とします。
- (2) 小学校普通教室は、多様な学習形態を可能とするため、教室内にオープンスペースを計画するとともに、教室と廊下との間仕切りを開放できる仕様とし、豊かな交流空間や主体的な学習展開に対応したオープン型教室とします。
中学校普通教室は、隣接する特別学習室やラウンジを利用して、少人数学習やグループ学習が行える教室まわりの計画とします。
- (3) 図書への興味や関心を持たせ、３階の図書室へと促す図書スペースを１・２階に計画します。
- (4) 光庭に面し、発表会などに使用できる大階段やラウンジ、特別教室まわりに教科の展示ができるメディアスペースなど、学校の様々な場所に、児童・生徒の交流、教科への関心や主体的な学習を促す魅力的な空間を計画します。

■ 児童生徒の健やかな成長を育む「生活環境」 → “豊かな心・健やかな体の育成”への対応

- (1) 徒歩やバス、自転車で通学する全ての子どもたちが一緒に登校する、校舎までのアプローチ空間を『ふれあいロード』と名付け、添田公園の桜並木から続く豊かな空間として計画します。
- (2) 屋外作業テラスや遊具を設置した低学年専用庭などを設け、屋外での多様な教育活動を可能とする計画とします。
- (3) 低学年専用庭は、遊具スペースが充実した安全で豊かな環境とします。

■ 統合のメリットを活かす「交流環境」 → “人間関係の多様化” “地域連携・協働の推進”への対応

- (1) 屋外大階段前には「おはよう広場」を設け、年代を超えた朝のあいさつ運動や小学校・中学校それぞれの学校行事、地域との活動など、様々な交流を促す計画とします。
- (2) 校舎３階を小中の共有エリアとして計画し、小中学生が一緒に活用できる図書室や交流も可能なメディアスペースを設け、交流環境の充実を図ります。

■ 児童生徒と地域を守る「安全安心」な学校 → “誰もが利用しやすい施設” “地域の防災拠点”への対応

- (1) 敷地内の出入り口は児童生徒、車両それぞれに専用の出入り口を計画し、歩車分離を徹底した計画とします。
- (2) 近隣の添田公園駐車場からのアクセスに配慮し、敷地前面に歩道を整備することで前面道路を横断することなく、敷地内にアクセスできる計画とします。
- (3) 体育館棟の１階に地域ラウンジ、メモリアルホール、PTA室を設け、地域に開放しやすい位置とします。また、緊急の災害時に地域住民等が利用することも考慮し、空調設備を完備した地域の防災施設として活用できる計画とします。

■ 周辺地域や自然との共生を目指す「環境に配慮」した学校

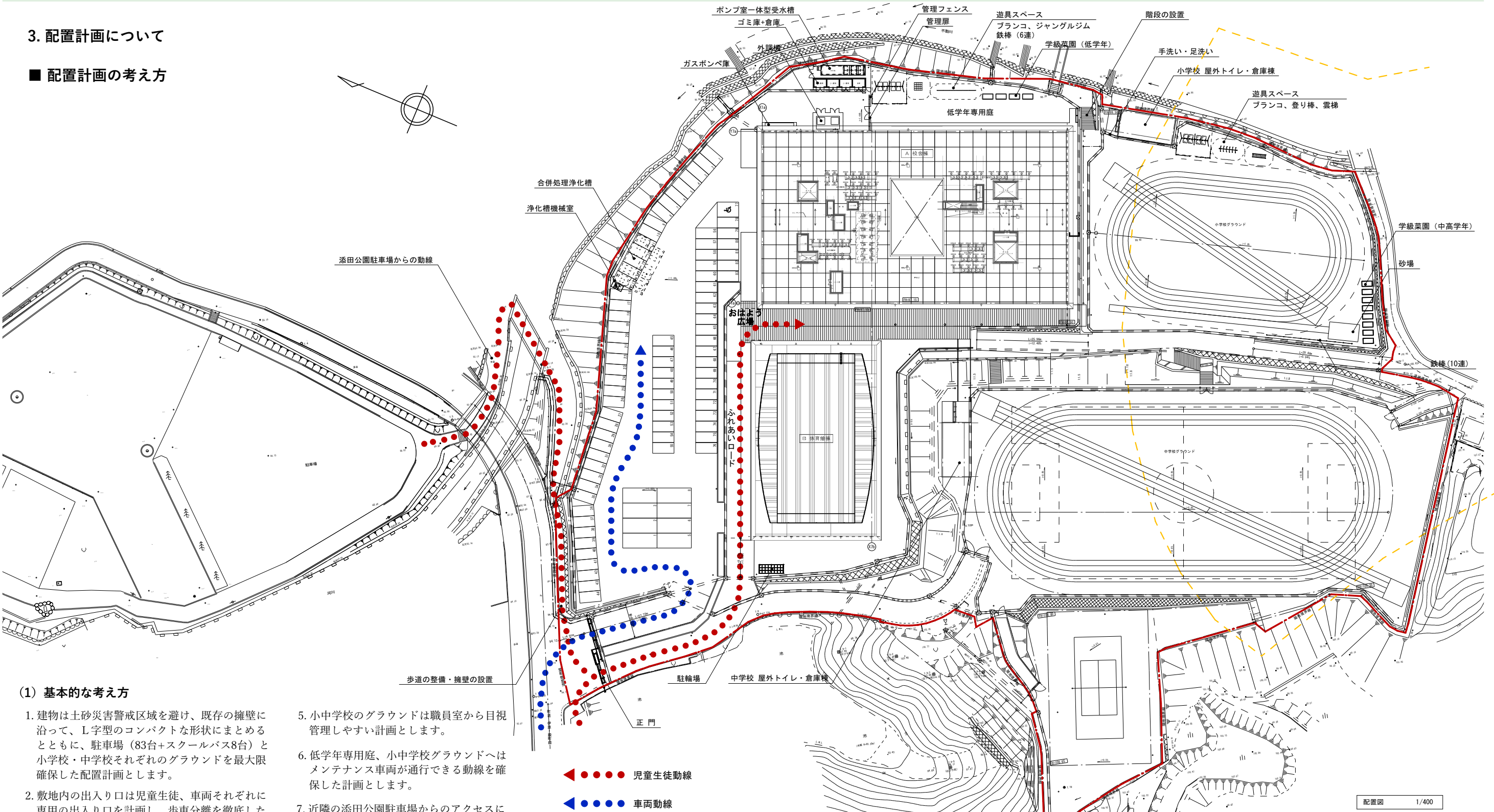
→ “地域に愛される学校” “環境の時代にあった建物づくり”への対応

- (1) 自然環境と調和する計画として、可能な限り体育館の高さを抑え、岩石山の緩やかな尾根の稜線に馴染む曲線を描いた屋根形状を計画します。また、東西に広がる体育館の大壁面を柱で分節化することで、圧迫感を軽減する計画とします。
- (2) 児童生徒の活発な活動が、そのまま添田の街に向かって表出するような外観を形成したいと考え、児童生徒の学びを支えるメディアセンターを透明なガラス面で覆うことで、北側に広がる眺望を確保しつつ、緑豊かな自然環境を内部に取り込み、学びに集中できる環境づくりを計画します。
- (3) 添田産材の木を使い、木の香り漂う温かみが感じられる空間により、愛着が生まれる木質化を計画します。



3. 配置計画について

■ 配置計画の考え方



(1) 基本的な考え方

1. 建物は土砂災害警戒区域を避け、既存の擁壁に沿って、L字型のコンパクトな形状にまとめるとともに、駐車場（83台+スクールバス8台）と小学校・中学校それぞれのグラウンドを最大限確保した配置計画とします。
2. 敷地内の出入り口は児童生徒、車両それぞれに専用の出入り口を計画し、歩車分離を徹底した計画とします。
3. 徒歩やバス、自転車で通学する全ての子どもたちが一緒に登校する、校舎までのアプローチ空間を『ふれあいロード』と名付け、歩行感のよい舗装を整備した豊かな空間として計画します。
4. 屋外大階段前には『おはよう広場』を設け、年代を超えた朝の挨拶運動や小学校・中学校それぞれの学校行事、地域との活動など、様々な交流を促す計画とします。

5. 小中学校のグラウンドは職員室から目視管理しやすい計画とします。
6. 低学年専用庭、小中学校グラウンドへはメンテナンス車両が通行できる動線を確保した計画とします。
7. 近隣の添田公園駐車場からのアクセスに配慮し、敷地前面に歩道を整備することで前面道路を横断することなく、敷地内にアクセスできる計画とします。
8. グラウンドの舗装面は砂塵等の飛散防止に対応した舗装とします。
9. 敷地周囲には野生動物の侵入防止に配慮し、十分な高さ下部に隙間のないフェンスを整備します。

●●●●● 児童生徒動線
●●●●● 車両動線

(2) 小学校グラウンド・低学年専用庭の計画

1. グラウンド内は120mトラックと50m直走路を整備し、周囲に屋外トイレや倉庫や手洗い・足洗い、遊具スペースを計画します。また南側の日当たりの良い場所に学級菜園を設けます。
2. 低学年教室前に低学年専用庭を計画し、低学年の児童が思い切り遊べる空間とします。

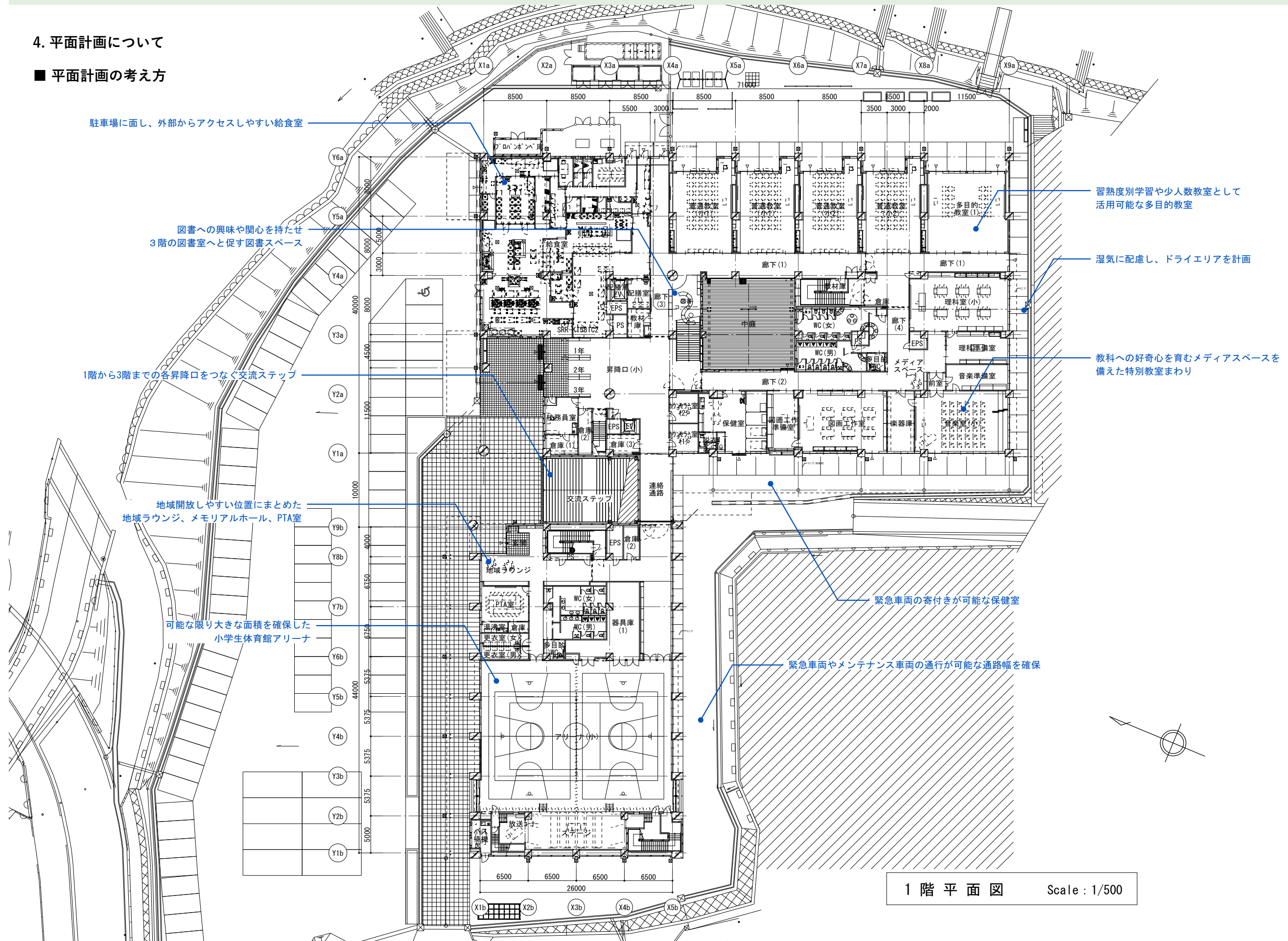
(3) 中学校グラウンドの計画

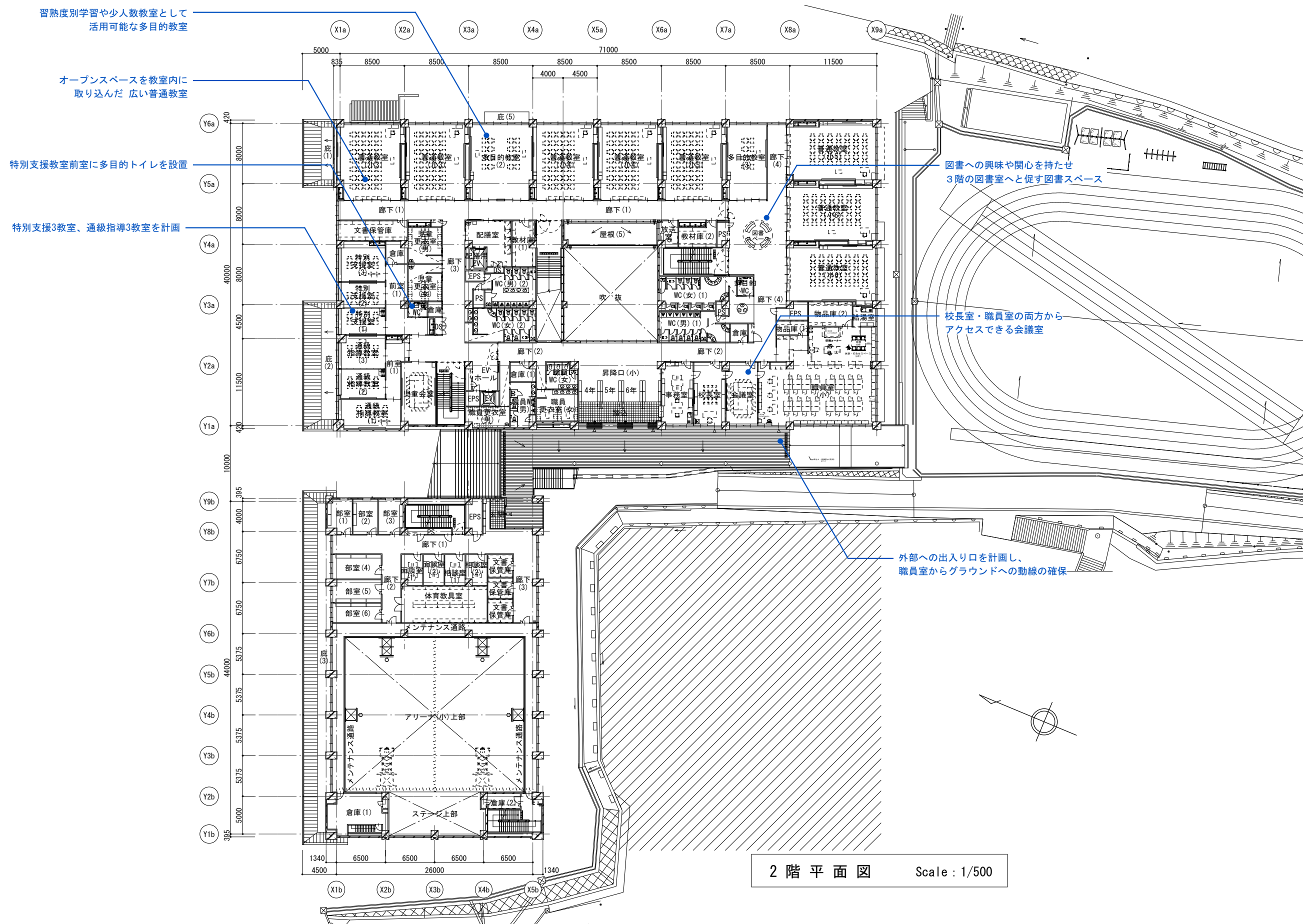
1. グラウンド内は200mトラックと100m直走路、サッカーコート、テニスコートを整備します。
2. 職員室から見通しが良い位置に屋外トイレ・倉庫棟を計画します。
3. グラウンド周囲には防球フェンスを設置し、グラウンド外への飛球を防止します。

■ 平面計画

4. 平面計画について

■ 平面計画の考え方





2 階 平 面 図 Scale : 1/500

学年集会や異学年・小学校中学校の交流活動
職員研修等に活用できる多目的な空間として
活用できる多目的ホール

標準蔵書数を収蔵できる広さを確保し
小中学生が一緒に活用できる図書室

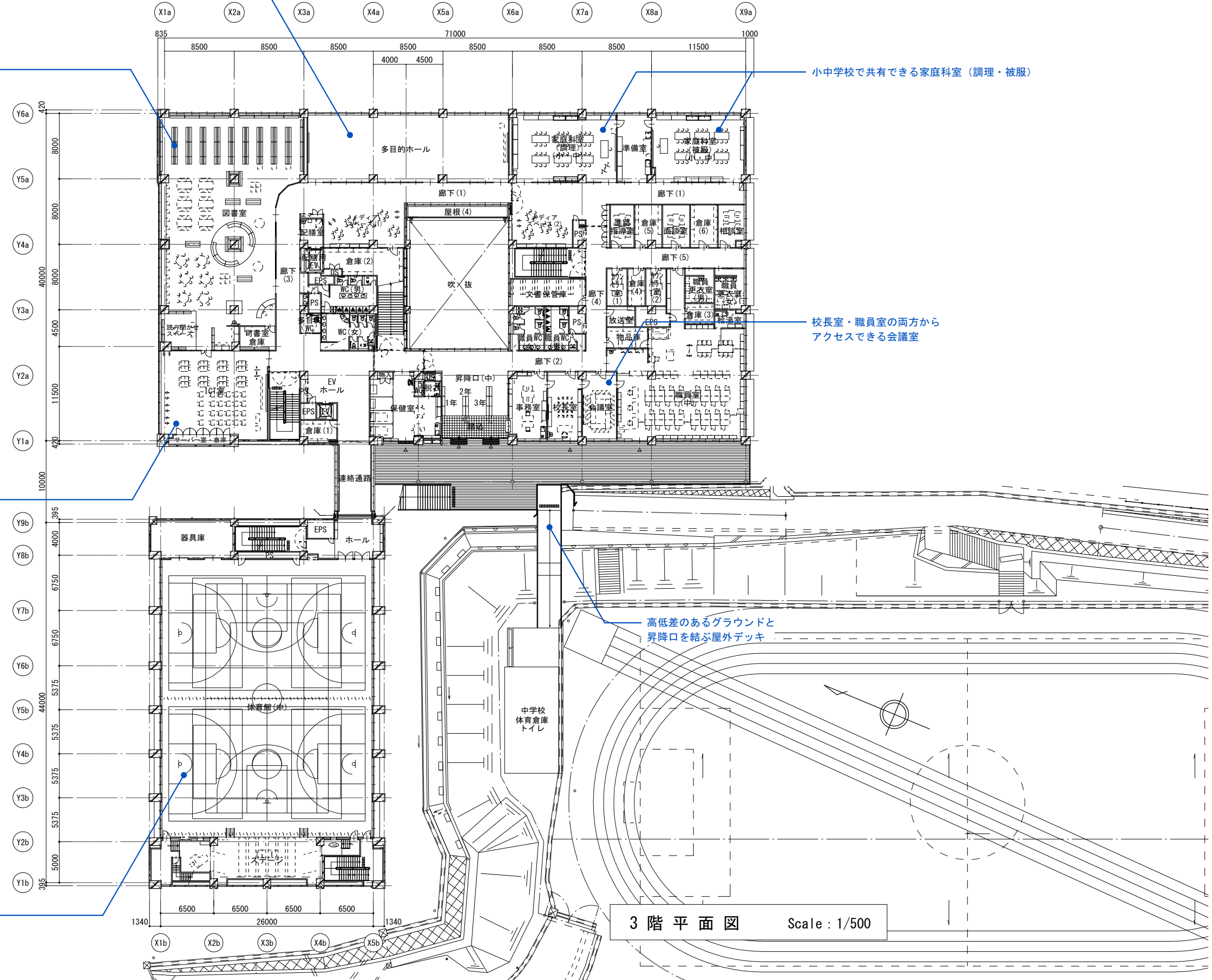
小中学校で共有できる家庭科室（調理・被服）

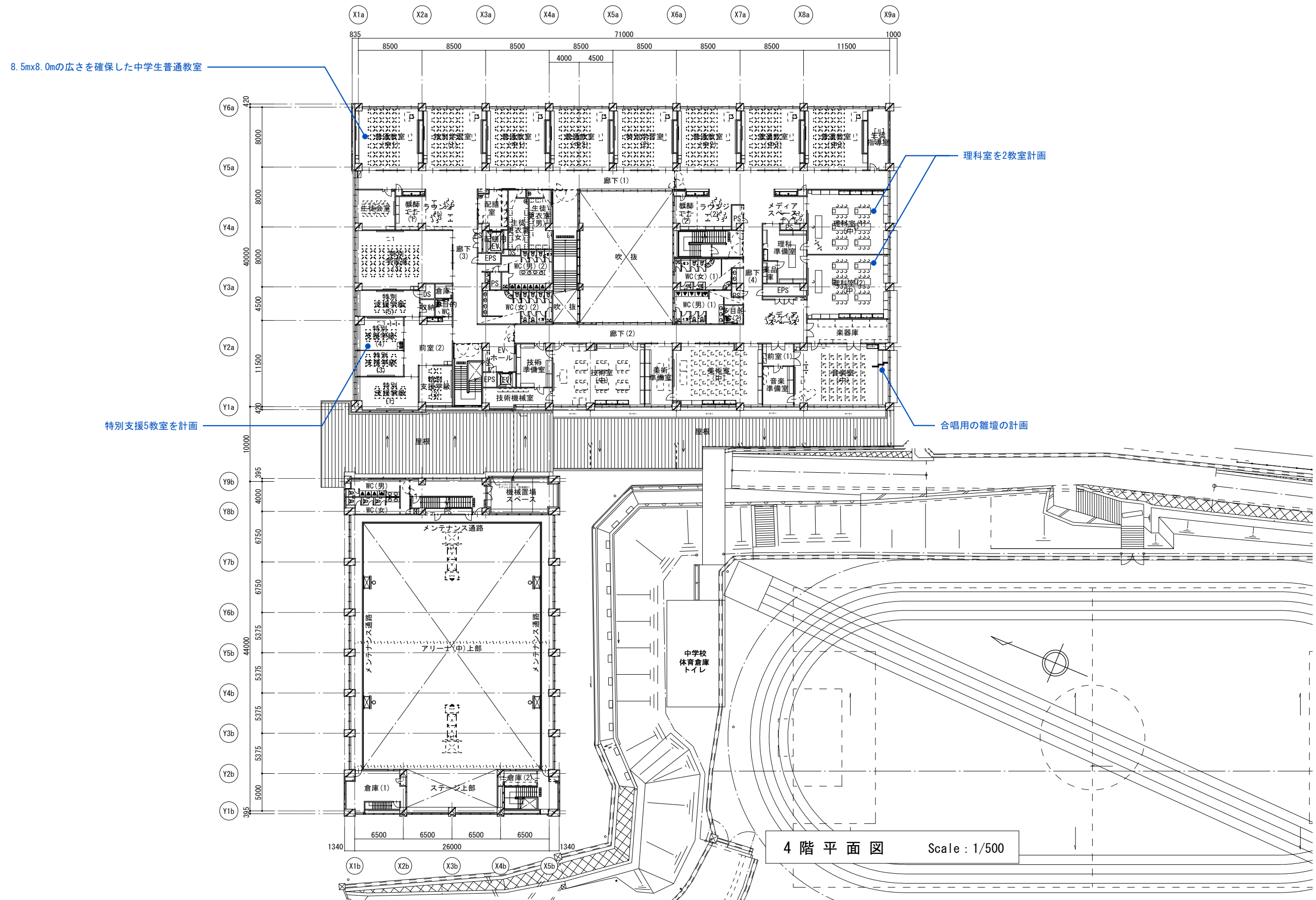
校長室・職員室の両方から
アクセスできる会議室

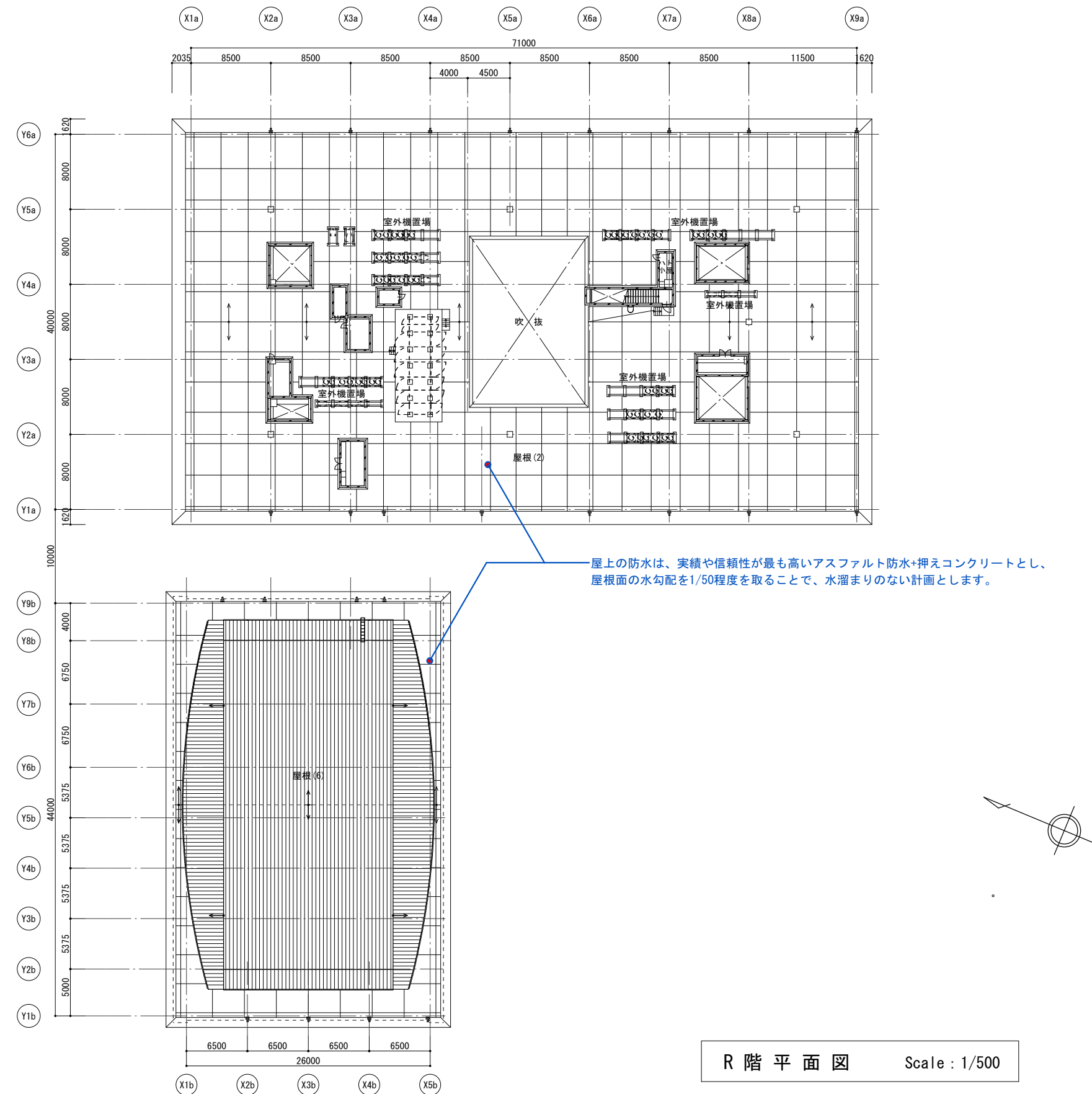
多目的に活用できるICT室

高低差のあるグラウンドと
昇降口を結ぶ屋外デッキ

可能な限り大きな面積を確保した
中学生体育館アリーナ







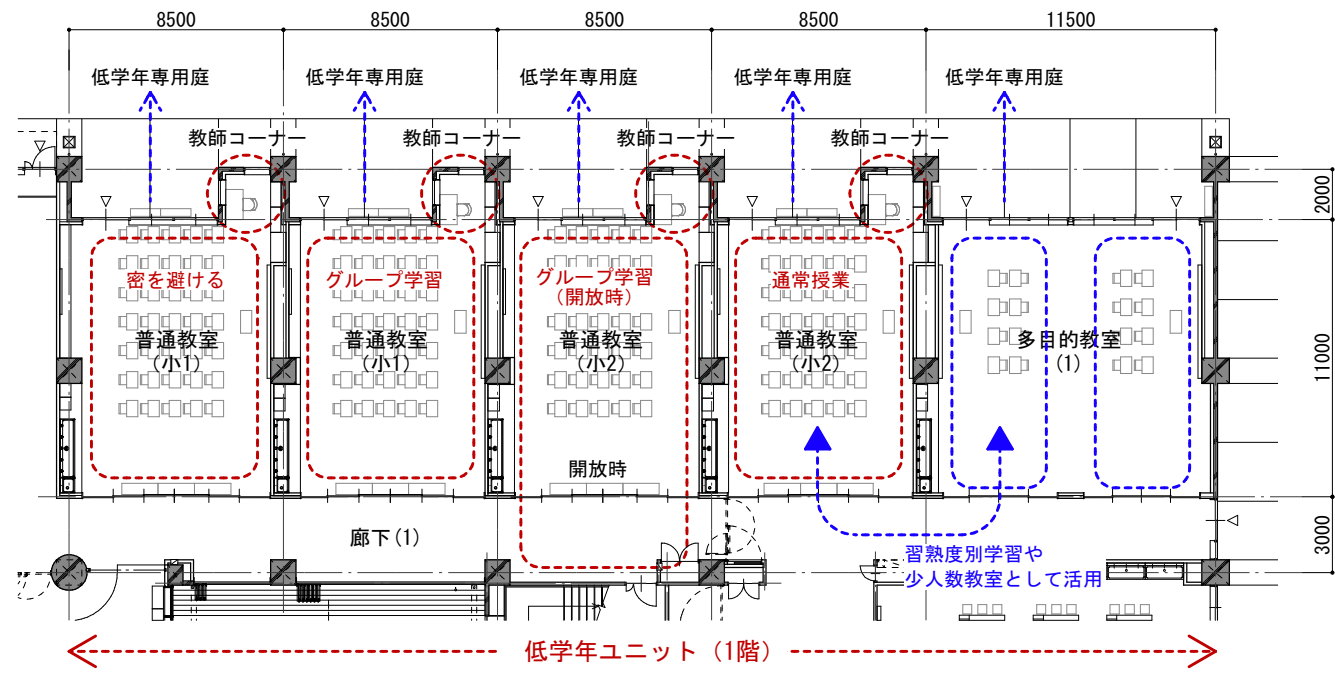
5. 普通教室まわりの考え方について

① 低学年ユニットの考え方

小学校低学年は、特別教室への移動等がなく、普通教室まわりで授業展開が完結する総合学習型の教室を検討します。教室を広く計画し、教室内にオープンスペースを計画するとともに、教室と廊下との間仕切りを開放できる仕様とし、多様な学習形態が可能な計画とします。

普通教室に近接して多目的教室を設け、習熟度別学習や少人数教室として活用できる計画とします。

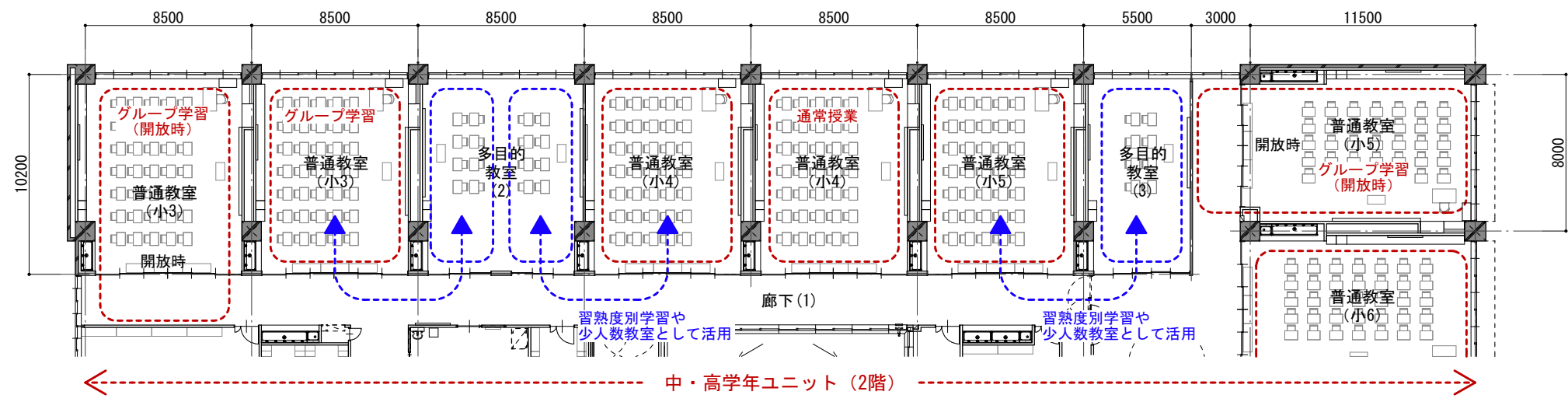
低学年の普通教室には、教師コーナーを計画し、教師が職員室に戻らずに、児童を見守れる環境を整備します。



② 中高学年ユニットの考え方

中高学年ユニットは、教室内にオープンスペースを計画するとともに、教室と廊下との間仕切りは開放できる仕様とし、豊かな交流空間や主体的な学習展開に対応したオープン型教室を検討します。普通教室に近接して多目的教室を設け、習熟度別学習や少人数教室として活用できる計画とします。

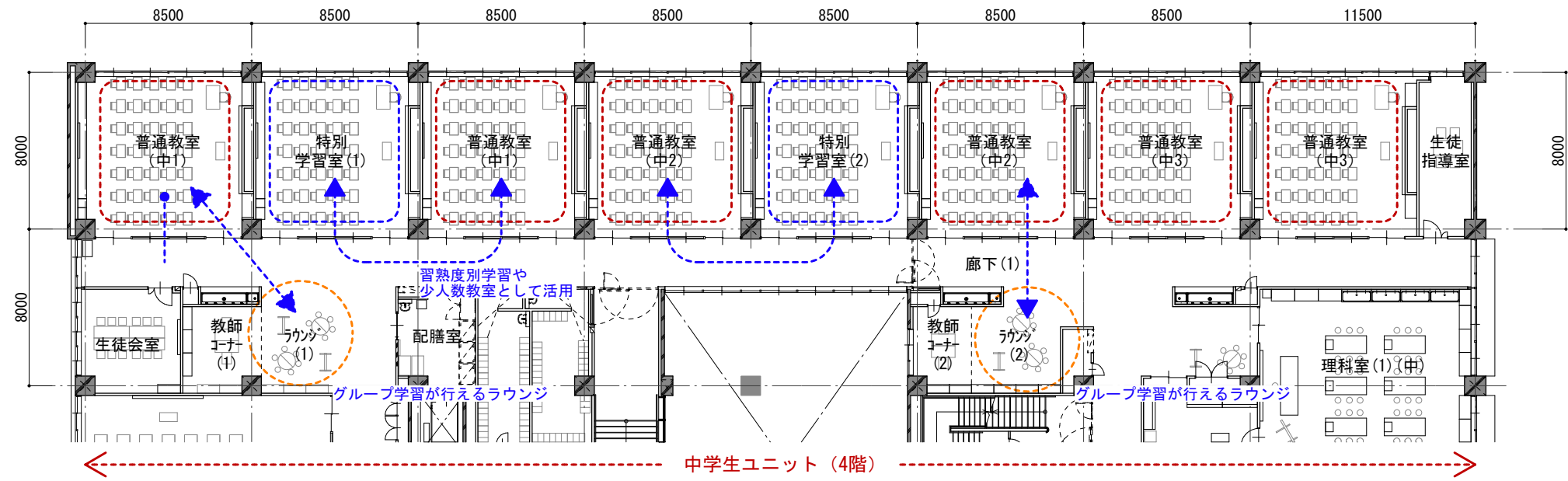
共用部には、学年ごとに掲示板を設置することで、他学年の学習内容の共有や教材への関心を促し、学習意欲の向上に寄与する空間づくりを行います。



③ 中学生ユニットの考え方

中学生ユニットは、教室を基本としながら、隣接する特別学習室やラウンジを利用して、少人数学習やグループ学習が行える教室まわりの計画とします。

ラウンジには、ホワイトボードや掲示板を設置することで、学習内容の共有や教材への関心を促し、学習意欲の向上や生徒同士での議論や対話的な学習意欲の向上に寄与する空間づくりを行います。



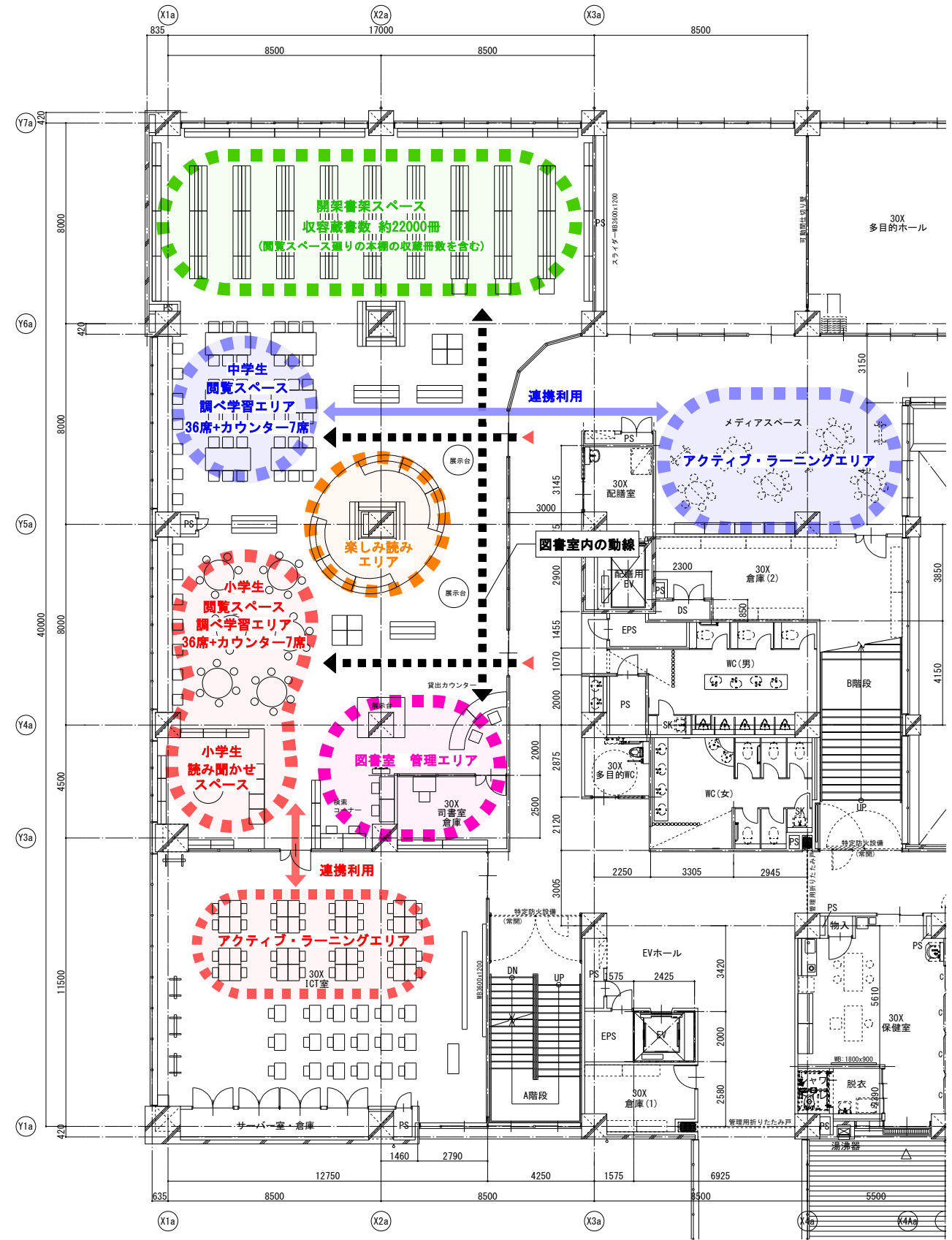
6. 図書室の計画について

(1) 図書室の計画コンセプト

1. 掲示や展示で子どもたちの興味関心をひく
 - ・雑誌架や湾曲絵本架などでコーナーをつくり、表紙を見せて置ける書架を配置することで、本への好奇心を刺激する計画とします。
 - ・掲示板や展示台を入りに配置し、子どもたちが招き寄せられるような計画とします。
2. 木の内装材とやさしい配色で、暖かく楽しい空間を演出する
 - ・木をふんだんに使用した内装計画とし、親しみやすく、居心地のよい空間とします。
 - ・家具等は空間のアクセントカラーとなるようなカラフルな配色とし、楽しい空間となるよう計画します。
3. 館内の見通しを良くし、廊下からも中が見渡せる計画
 - ・閲覧スペース廻りは低書架とし、管理エリアから奥の開架書架エリアまで視線を遮らない計画とします。
 - ・廊下側の壁はガラスのパーテーションとし、楽しそうな館内の様子がわかる計画とします。
4. 小学生・中学生それぞれのエリアを本棚で区切ってつくる、閲覧スペース(調べ学習エリア)
 - ・小学生と中学生の閲覧スペースは、本棚でゆるやかに区切り、適度な距離感が生まれるような計画とします。
 - ・閲覧スペースの区分けは、天井仕上げを変えることで視覚的にもわかる計画とします。
5. 図書室中央部の楽しみ読みエリアの計画
 - ・本図書室の象徴的な空間として円形のベンチ付書架を計画し、友達と会話しながら本を読める楽しい空間として計画します。
6. 明確な動線の計画
 - ・貸出カウンターと書架エリアを結ぶメイン動線に沿って、天井ルーバーを計画することで視覚的にもわかりやすい動線を計画します。
 - ・館内の動線に沿って、雑誌架や展示台を配置することで子どもたちの興味関心をひく計画とします。
7. 隣接するICT室・メディアスペースとの連携利用
 - ・図書室内では難しいグループディスカッションやグループワーク等のアクティブ・ラーニングスペースとして、隣接するICT室やメディアスペースと連携利用が図れる計画とします。



図書室の内観イメージ

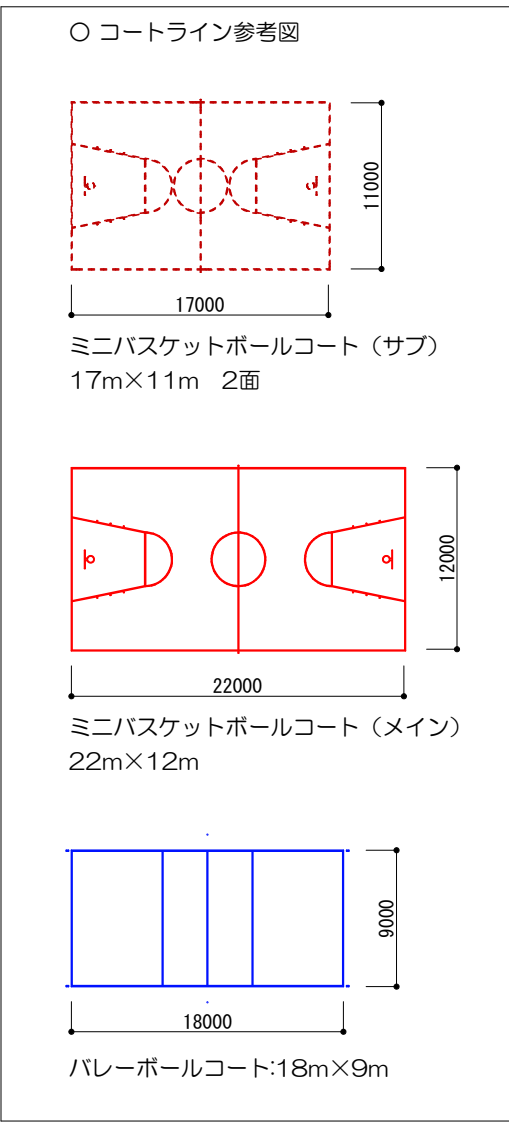
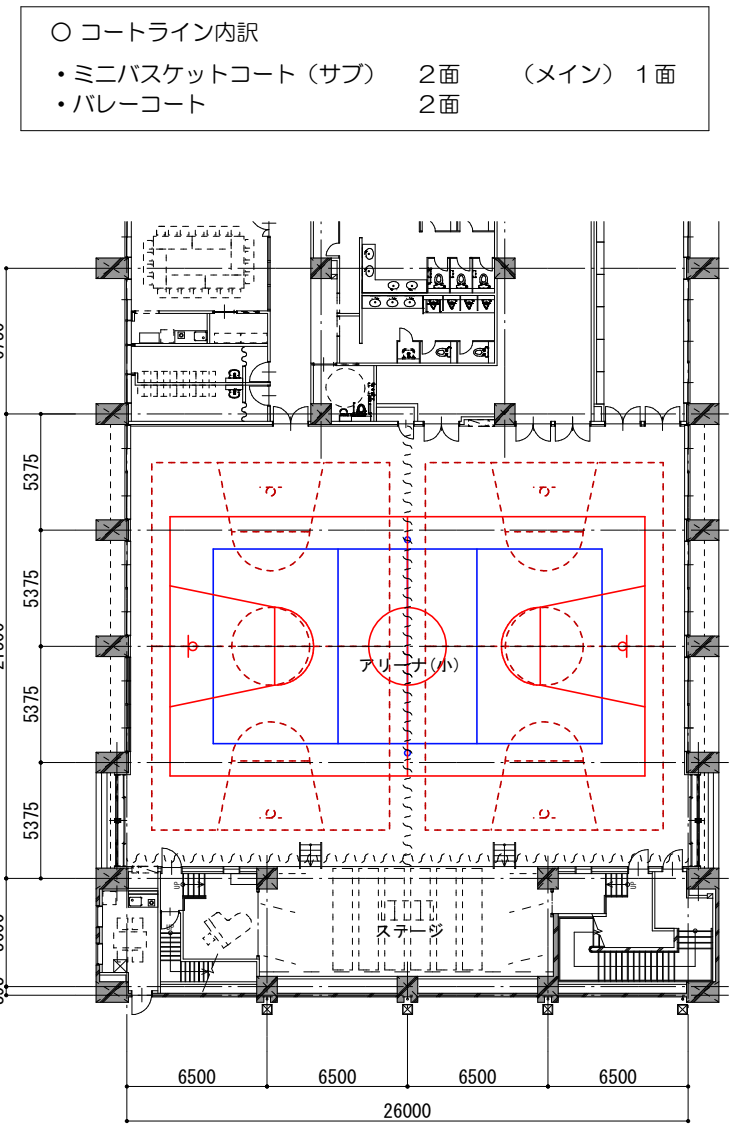


7. 小学校・中学校の体育館の計画について

(1) アリーナについて

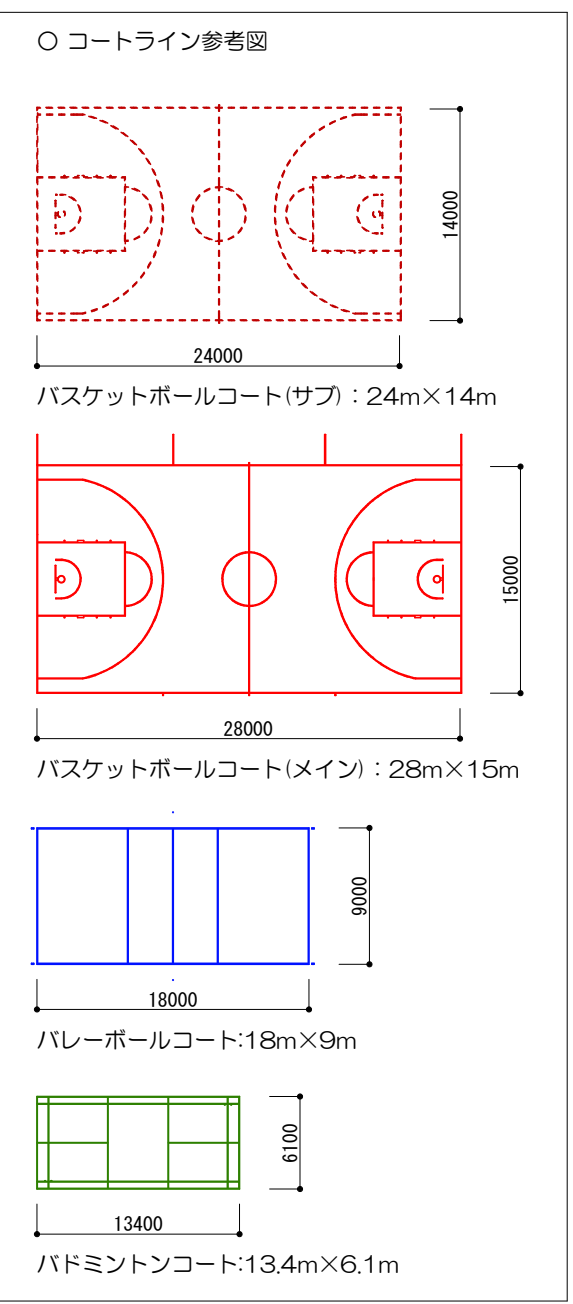
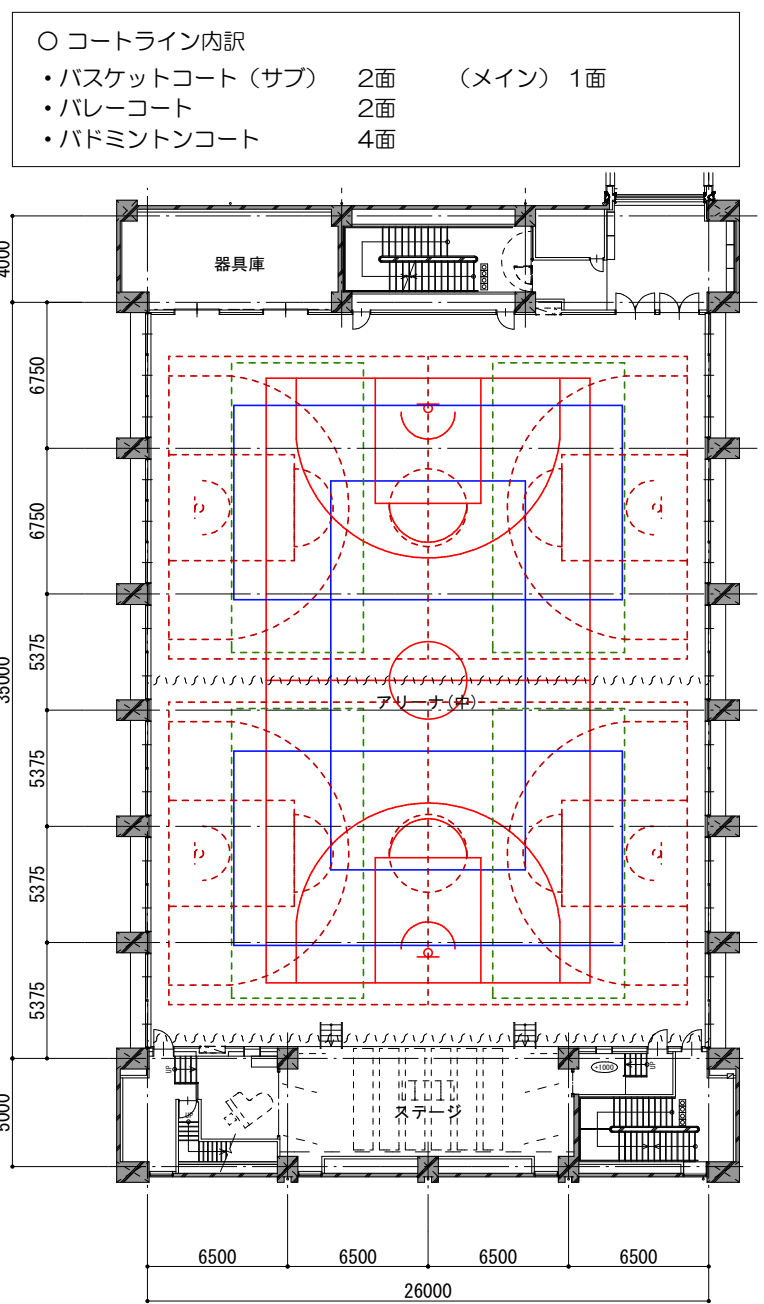
① 小学校体育館

- ・小学校利用を想定するとともに、各競技が利用可能な広さを確保します。
- ・バレーボールの競技に支障がない最低限の高さとして、梁下で7mを確保します。
- ・アリーナ周囲の部屋に、音が響かないように、遮音壁を適切に計画します。
- ・アリーナ内部の通風が取りやすいように、空間上部に換気窓を設ける計画とします。
- ・床材は、フローリングの採用を検討するとともに、2重床により競技性の向上および周辺への衝撃音・振動が響かないように配慮した計画とします。
- ・ステージ下に椅子が収納できる計画とします。
- ・アリーナと保健室を同一階に配置し、緊急時に早急な対応ができるように配慮します。



② 中学校体育館

- ・中学校利用を想定するとともに、各競技が利用可能な広さを確保します。
- ・バレーボールの競技に支障がない高さとして、梁下で10m以上を確保します。
- ・アリーナ周囲の部屋に、音が響かないように、遮音壁を適切に計画します。
- ・アリーナ内部の通風が取りやすいように、空間上部に換気窓を設ける計画とします。
- ・床材は、フローリングの採用を検討するとともに、2重床により競技性の向上および周辺への衝撃音・振動が響かないように配慮した計画とします。
- ・ステージ下に椅子が収納できる計画とします。
- ・アリーナと保健室を同一階に配置し、緊急時に早急な対応ができるように配慮します。



08. 立面計画について

■ 立面計画の考え方

英彦山麓（岩石山の麓）に広がる豊かな自然環境と調和し、児童生徒が毎日登校したいと思ってもらえるような外観計画

- ①英彦山麓の自然豊かな環境との調和 ⇒ 建物高さ・ヴォリュームを抑える外壁・屋根の形態
- ②児童生徒の活発な活動が、添田の街に向かって表出するような外観計画
- ③緑豊かな自然環境を建物内部に取り込み学びに集中できる環境づくり ⇒ バイオフィリックデザインを取り入れた計画

（１）体育館棟計画

- ・可能な限り体育館の高さを抑え、岩石山の緩やか尾根の稜線に馴染む屋根形状とするため、緩やかな曲線を描いた屋根形状とした。
- ・東西に広がる体育館の大壁面の圧迫感を軽減するため、リブ柱を構造体となる柱に添わせることで分節化し、縦樋や空調ドレン管の設置スペースとして利用する計画とした。
- ・体育館から持ち出した庇は、雨に濡れずに児童生徒を校舎へ導くメインアプローチとして、V字柱で特徴付けるとともに、軒天に添田産の木仕上げとすることで、親しみやすく暖かみのあるアプローチ空間として整備する。

（２）校舎棟計画

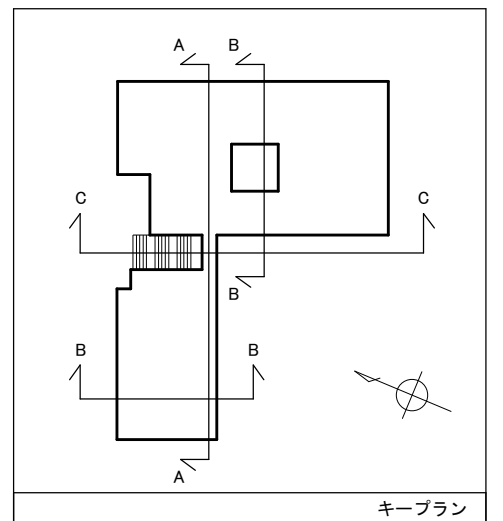
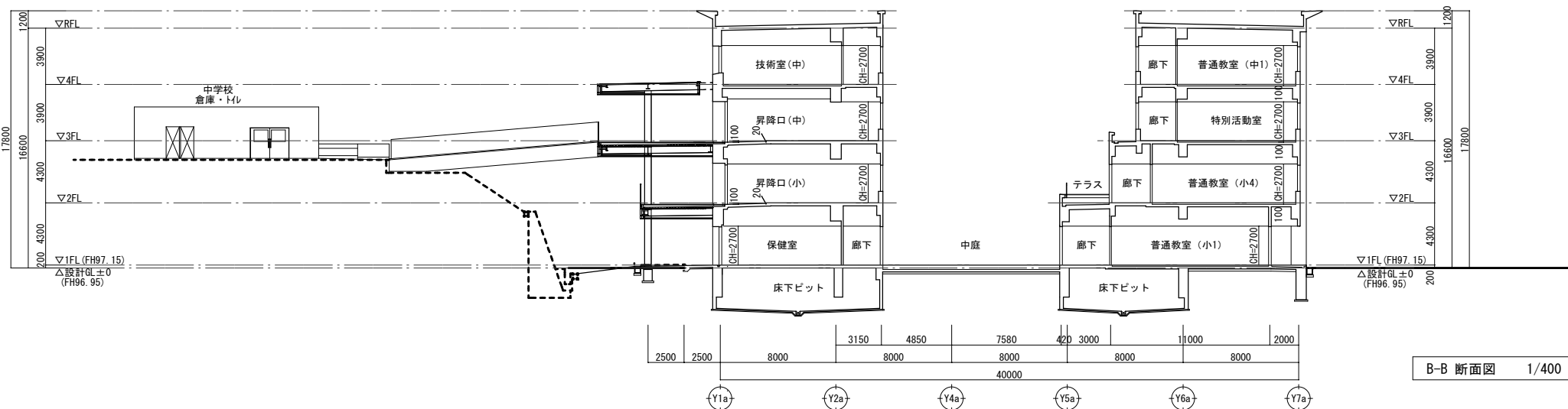
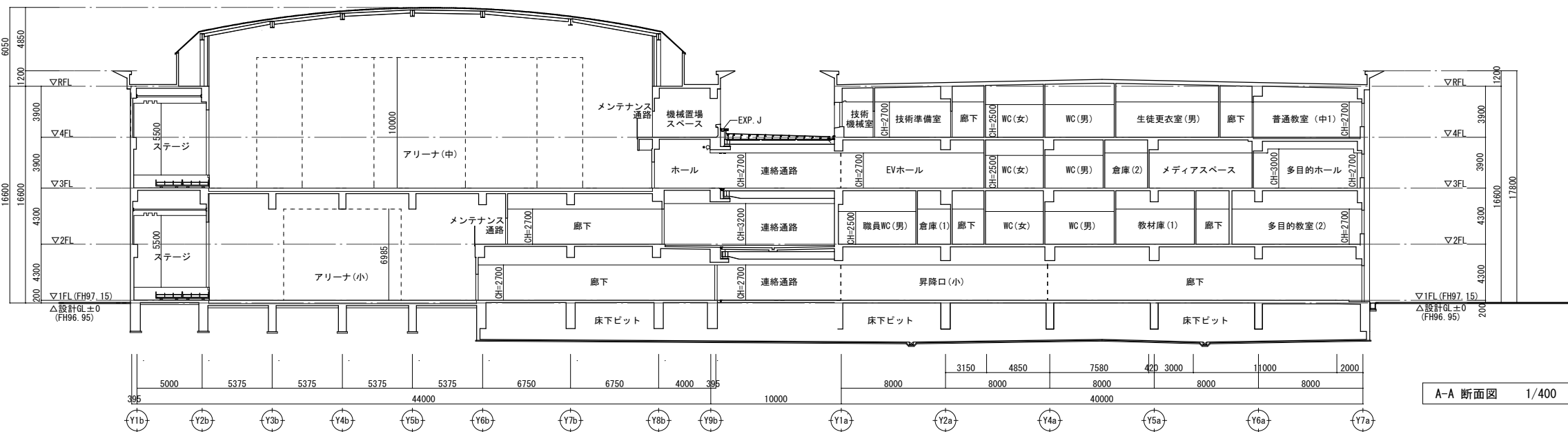
児童生徒の活発な活動が、そのまま添田の街に向かって表出するような外観を形成したいと考え、児童生徒の学びを支えるメディアセンターを透明なガラス面で覆うことで、北側に広がる眺望を確保しつつ、緑豊かな自然環境を内部に取り込み、学びに集中できる環境づくりとして、バイオフィリックデザインを取り入れた計画とした。



9. 断面計画について

(1) 機能的な階構成と無理のない階高構成

- ・経済性と利便性を兼ね備え、高低差の利点を最大限生かした構成。階高は、校舎と体育館を段差のないフラットな屋内通路で直結させるため、1・2階は4.3m、3・4階は3.9mの設定とし、バリアフリーに配慮した構成とします。
- ・適切な天井高さ天井内スペースを確保し、設備計画上無理のない階構成とします。
- ・小中学校のエリアを階層で分けることにより、授業時間の違いによる騒音やチャイム等の問題に対応できる計画とします。
- ・小学校体育館アリーナ高さは、バレーボール競技上必要な約7.0mとし、中学校体育館アリーナ高さは、約10m以上（国民体育大会基準）確保する。



■ 仕上げ計画

10. 仕上げ計画について

■ 仕上げ計画の考え方

● 機能とデザインの融合

- ・耐久性、経済性、耐火性等の材料の持つ機能と、仕上げの色調、表情等のデザインが融合した仕上げを具現化します。また、メンテナンスの少ない信頼性の高い材料・工法を選択し、標準化・規格化の可能な部分は、均一で精度の高い工場製品を使用します。

■ 防水性と断熱性に富んだ屋根材

- ・耐久性、経済性、更新性に配慮し、陸屋根部はアスファルト防水（外断熱）+ 押えコンクリートを基本とし、体育館は金属系の屋根を用いて岩石山の緩やか尾根の稜線に馴染む曲線を描いた形状とします。

■ 汚れ防止に配慮した外壁

- ・外壁の仕上材は、低汚染型の吹付け材を主体に採用し汚れ防止を図ります。また意匠上のポイントなる外壁面や柱型は石や砂など自然の風合いのある装飾仕上塗材とします。

■ メンテナンスの少ない材料

- ・外部手摺等の鉄部は防錆を考慮し、溶融亜鉛メッキ処理を行ったものを使用します。

■ 木の温もりが感じられる空間

- ・床材や腰壁に空間全体に気配りした木質系材料を使用することにより手触りや視覚的にも配慮した計画とします。
- ・屋外デッキや中庭に使用するデッキ材はメンテナンス性に配慮し、風化しても変色、割れが起きない『耐水性』『耐候性』に優れたリサイクル木材を使用します。

■ 機能を重視した仕上げ

- ・理科室や家庭科室等の特別教室はそれぞれの機能に合わせた材料を選択します。職員室はOAフロアとし、近年の情報化に対応します。
- ・天井材は基本的には吸音性を重視した材料を選択します。
- ・耐火材料や防火材料の適用を受ける部分については諸法令に適合させると共にその他の部分も極力下地共不燃化を図ります。

■ 内部の色彩計画

- ・外部同様「白」を基調とし、バランスよく木質系の材料を配した計画とします。さらに、品位のあるアクセント色を施して豊かな内部空間を演出します。
- ・ブロックやゾーンを意識した色を採用し、訪れる人たちにわかりやすい色彩計画を行います。

■ 人にやさしい安心して学習できる環境づくり

- ・「建築基準法」、「学校施設整備指針」に基づき、ホルムアルデヒド、トルエン等の化学物質を含む建材、施工材等の使用を制限した計画とします。また、空間構成的にも通気性、換気性の良い空間を創出します。
- ・自然素材にて製造される材料を使用し、人にやさしいエコロジカルな仕上げとします。また、リサイクルできる材料やリサイクルした材料を多く採用し、環境にやさしい仕上計画とします。

■ 仕上計画のイメージ

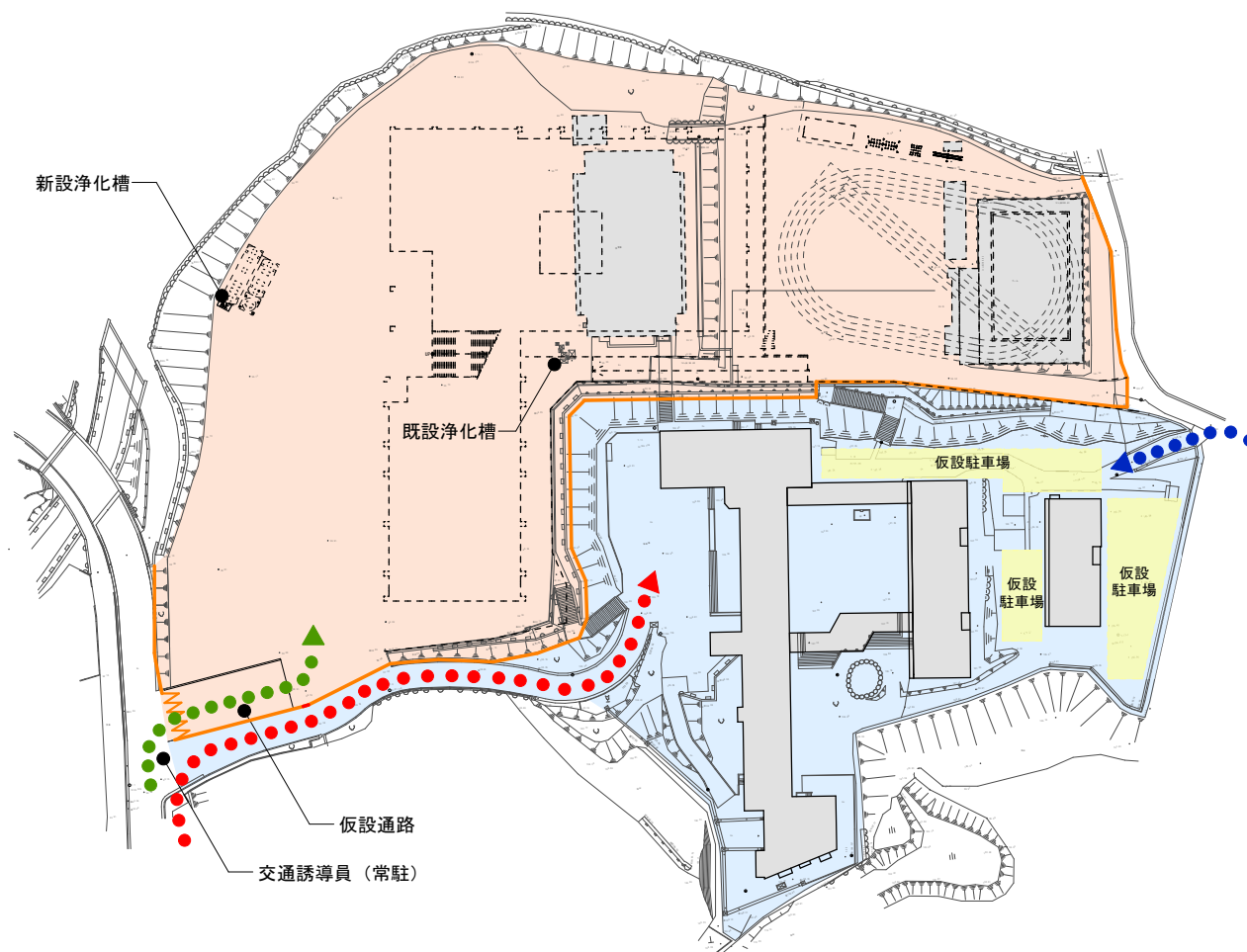


11. 工事移行計画について

■ 工事移行計画の考え方

- (1) 工事期間中の安全確保と近隣への影響に対する配慮
 - ・仮囲いによる明確な工事エリアの設定、児童・生徒の動線と工事車両動線の分かりやすい歩車分離、交通誘導員の適切配置により、児童・生徒の安全を最優先とした工事計画とします。
 - ・校舎と体育館を一度に建設する等、工期短縮を図り、児童・生徒、地域への負担を軽減します。
- (2) 土砂災害特別警戒区域ライン廃止に伴い、小学校グラウンド・附属建物を校舎・体育館工事に組み込み、小学校グラウンド休止期間をなくします。

- (3) 工事期間中の各施設を確保した利用しやすい計画
 - ・新校舎の浄化槽を先行して設置し、既設浄化槽から切り替えを行うことで既存校舎の利用に支障のない工事計画とします。
 - ・既存校舎解体時にアスベストが飛散しないよう十分な調査と飛散防止対策を行い、解体工事を行います。



Phase1

①令和5年2月～令和7年1月

主な工事

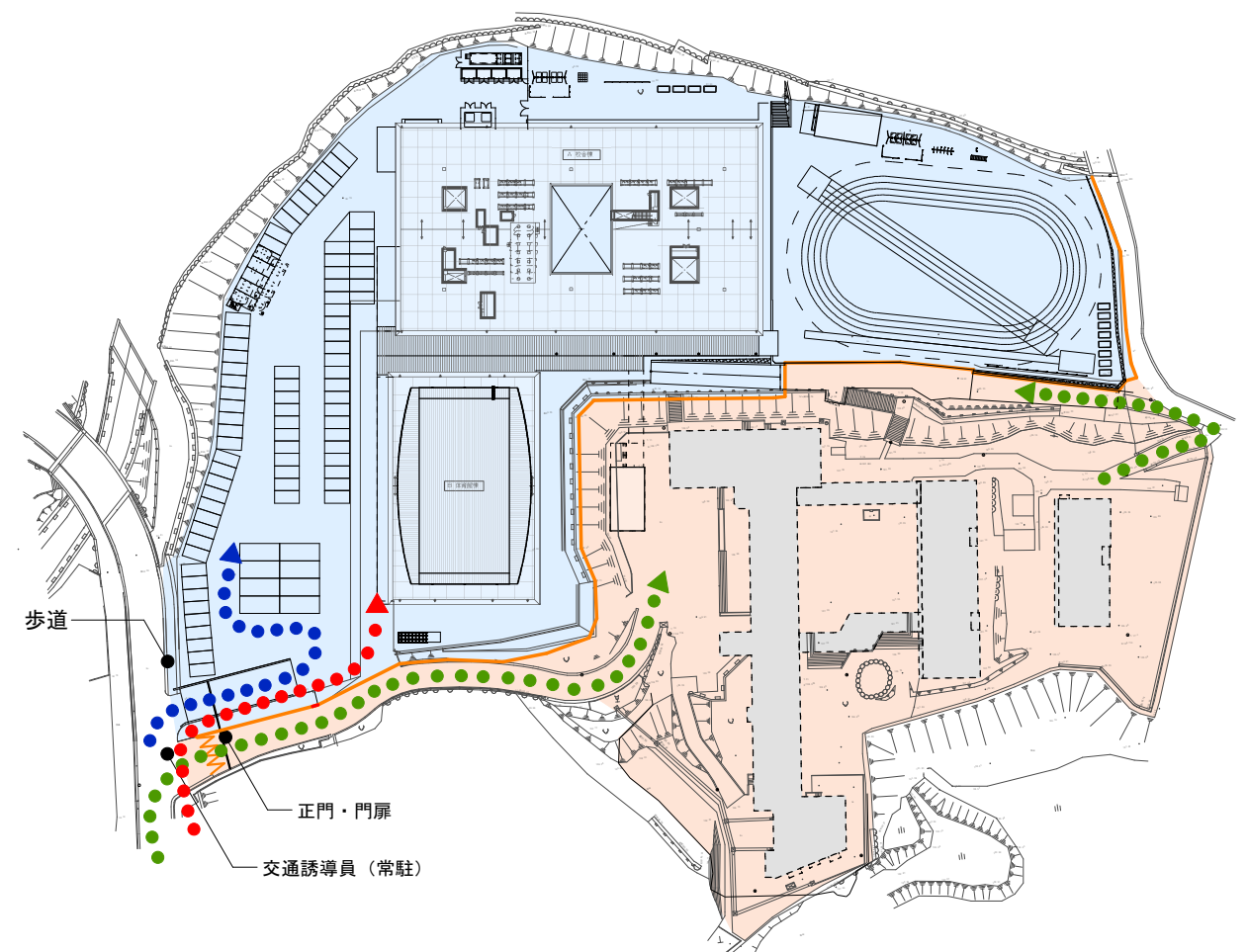
浄化槽設置工事
(令和5年2月～令和5年6月)

体育館・プール解体工事
(令和5年5月～令和5年7月)

校舎・体育館工事
小学校グラウンド・附属建物
(令和5年7月～令和7年1月)

凡 例

●●●●● : 児童生徒動線
●●●●● : 職員車両動線
●●●●● : 工事車両動線
□ : 学校利用範囲
□ : 工事範囲
— : 仮囲い



Phase2

②令和7年7月～令和8年8月

主な工事

既存中学校校舎解体工事
(令和7年7月～令和8年1月)

中学校グラウンド整備工事
(令和8年1月～令和8年8月)

屋外倉庫・トイレ・部室など附属建物
(令和8年1月～令和8年8月)

凡 例

●●●●● : 児童生徒動線
●●●●● : 職員車両動線
●●●●● : 工事車両動線
□ : 学校利用範囲
□ : 工事範囲
— : 仮囲い